



吉野 一夫 議員 (自民新政会)

スポーツ推進計画の

現状と今後を問う

教育長 町民アンケートを基礎資料として 策定していく

質問 スポーツによるコミュニティづくりを町長は、基本方針の一つとして掲げられた。今年度は、スポーツ推進計画改訂の予算が計上され、具体的に始まったと思われる。体育協会、笑夢スポーツクラブ、スポーツ愛好団体、老人会など、多くの町民との「協働」により進めなければ、実効性のある計画とは言えず、絵に描いた餅になるのではと危惧する。そこで、スポーツ推進計画改訂の現状と今後について問う。



29年度町民体育祭の様子

たため、計画の見直しはしてこなかった。30年からの次期計画では①東京オリンピック・パラリンピックの盛り込み②障がい者スポーツの推進③スポーツによるコミュニティ振興の3つを検討項目として追加する。現在、スポーツ関連団体や公募委員などによる検討会を設置し、町民2000人対象のアンケート調査を基礎資料として協議し、策定していく。

質問 町は、毎年6月に全町一斉清掃を実施して美化意識の向上を図り、環境パトロールの巡回監視で不法投棄の防止や空き地の適正管理等を行っている。また、ボランティアや

地域住民によるごみ拾いも行われている。しかし、相変わらずごみのポイ捨てや不法投棄が後を絶たない。本来、マナー・モラルの問題だが、多くの自治体で罰則付きの条例を制定している。我が町も「ポイ捨て禁止条例」を制定すべきと考えるが、町長の所見を伺う。
町長 13年の9月議会において、ごみのポイ捨ての規制に関する条例の制定を検討すると答弁した。罰則付きの条例については、監視体制、罰金の徴収体制を設けなければならぬ。これは大変厳しい条例であり、その前に原因の究明や他の手立りで防止できないかをまず考えるべきと考

原 隆夫 議員 (公明党)

「ポイ捨て禁止条例」を制定し 美しい瑞穂を!

町長 罰則つき条例とすべきかを含め検討したい



6月に行われた全町一斉清掃の様子

「ポイ捨て禁止条例」を制定すべきと考えるが、町長の所見を伺う。
町長 13年の9月議会において、ごみのポイ捨ての規制に関する条例の制定を検討すると

齋藤 成宏 議員 (民進党)

ライブカメラ設置で 防災・観光への利活用を

町長 まずは防災面を優先



質問 近年の集中豪雨や豪雪での対策では、ライブカメラをはじめ各種映像による情報収集が、防災関係機関の被災状況確認や分析・判断に役立っている。また、平常時のライブカメラ映像の一般公開

が、観光入込客数の増加にも効果があるとされる。これらを組み合わせ、町としてのライブカメラ設置で、平常時の観光活用、非常時の防災活用といった日常的に利活用できる取組みに向けた研究・検討を図るべきと考え

の活用方法については、まずは防災面を優先し、観光面での活用ができる能力や機能的余裕があるのかについては、その後の検討課題となる。

建設にあわせ設置するよう指示している。また、災害監視用カメラ設置の検討も指示している。小型リーダーによる局地豪雨予測システムの導入や地域別の観測機器の整備を進め、早期の警戒態勢を優先する。カメラ



26年2月の雪害の様子 (第二中学校駐輪場)

町長 災害時の情報収集能力の向上は、町としても喫緊の課題である。気象観測機器の地域配備および雨雲レーダーを新庁舎建設にあわせ設置するよう指示している。また、災害監視用カメラ設置の検討も指示している。小型リーダーによる局地豪雨予測システムの導入や地域別の観測機器の整備を進め、早期の警戒態勢を優先する。カメラ



下野 義子 議員 (公明党)

性的少数者 (LGBTなど) 支援の取り組みを

町長 正しい知識が重要であり、周知や研修参加を進めていく

質問 LGBTなどの性的少数者は社会的に少数派であるため、周囲の人の無理解や偏見から様々な困難を抱えている。自殺にまで追いつめられる人も少なくないとも言われている。誰もがありのまま受け入れられ、自分らしく生きられる社会を目指すし、職員や教員への研修、相談窓口の設置、学校教育への取り組み、パートナーシップ制度の整備、公営住宅の入居要件緩和など、できる限りの支援に取り組むべきと考えるが、町長の所見を伺う。

いては、まずはLGBTについて正しい知識を持つことが重要であり、既に町職員や教職員も機会を見て研修に参加しているが、次年度も参加を呼びかけた。正しい知識が不足している現状では、パートナーシップ制度や町

町長 性的少数者は、ある企業の実態調査によると13人に一人と聞



LGBTの尊厳を象徴するレインボーフラッグ